**ちおこらむ地域おこし協力隊コラム**

問い合わせ 政策課地方創生担当 電話23-2129

**Vol.13　地域おこし協力隊活動報告会が行われました**

　3月19日に、地域おこし協力隊の活動報告会が行われ、隊員4人が1年間活動した内容を報告しました。

　隊員（観光交流課）は、SNSを通じて国内外へ本市の魅力を発信し、本市への誘客に貢献しました。R2

　隊員（デジタル戦略課）は、スマートフォンを生活の中で活用できる方法を高齢者世代に伝える活動をしました。

　渡辺あかね隊員（鳴子総合支所地域振興課）は、鳴子こけし工人としての技術の習得とSNSでの鳴子こけしに関する情報発信に努めました。

　今年度も地域と連携し、地域活性化に取り組んでいきます。

写真：鳴子こけしについて説明をする渡辺隊員

**やってみっぺみんなで手話**

問い合わせ　高齢障がい福祉課障がい福祉担当 電話23-2167

　手話を皆さんに知ってもらうため、あいさつの表現方法などを紹介します。手話は手指や体の動き、顔の表情を使って視覚的に表現する言語です。手話を使って、コミュニケーションの輪を広げてみませんか？

**3　「おはようございます」をやってみよう！**

①右手で枕に見立てたこぶしを作り、こめかみのあたりに当てて下におろす。

②向かい合わせた人差し指を折り曲げる。（指で表現せずおじぎでもOK）

**市長コラム　天地人**

**頑張れ関!!**

　大相撲春場所（大阪場所）で、東十両筆頭の時疾風関が二回りも大きい力士を堂々と寄り切るなど勝ち越しを決め、新入幕を果たしました。

　宮城県出身力士としては、（現親方）以来27年ぶりの快挙であり、コロナや災害など暗いニュースが続いていた私たちにとって久々の朗報でした。

　喜びと期待に沸く地元では先日、時疾風関を育んだ瀬峰小学校、栗駒中学校、小牛田農林高等学校、東京農業大学関係者や相撲ファン２２０人が集い、大崎市内で大祝賀会を開催し、お祝いとさらなる活躍へエールを送りました。

　相撲の魅力・は、「気は優しくて力持ち」の日本男児らしさと、「礼節」を大事にする立ち居振る舞い、「小よく大を制す」小さい力士が大きい力士を豪快に投げ飛ばす技でしょう。

　時疾風関の絶大な人気は、それらの要因全てを持ち合わせていることです。男前・の若武者であり、美しい仕切りや立ち合い、どんなに大きな力士にでも奇計などを用いない正々堂々、真っ向勝負で挑むな姿勢でありましょう。

　今後一層稽古に励み、幕内上位・三役を目指してほしいと期待しております。

　さらに願わくば、第三代横綱（道の駅米山に銅像）、第四代横綱（仙台勾当台公園に銅像）、第九代横綱（気仙沼岩井崎に銅像）、第十八代横綱（白石城に銅像）に次いで本県5人目の横綱を目標に精進していただきたいと夢を託しております。